

■天皇皇后両陛下北海道行幸啓
～北海道150年記念式典・地方事情御視察～

■天皇皇后両陛下福井県行幸啓
～明治150年記念 第73回国民体育大会・地方事情御視察～

月刊

チャップリン

2018年(平成30年)

10月15日

第33巻4通巻207号

昭和62年5月22日第三種郵便物認可

¥200 1・4・7・10月 15日発行

発行人 株式会社アアムス 〒173-0027東京都板橋区南町62-7スカイコートK. 1階

天皇皇后両陛下下行幸啓

北海道行幸啓 平成30年8月3日～8月5日

北海道150年記念式典御臨席・地方事情御視察



本道が「北海道」と命名されてから一五〇年となる二〇一八年(平成三十一年)を節目と捉え、積み重ねてきた歴史や先人の偉業を振り返り、感謝の意を込めて、北海道一五〇年事業実施された。北海道一五〇年事業実行委員会では、八月五日に北海道立総合体育センター「北海道きたえーる」で「北海道一五〇年記念式典」を開催した。第一部では、天皇皇后両陛下の御臨席を賜り、高校生が「青少年の誓い」を述べたほか、アイヌ民族の伝統芸能と地域の伝承芸能が交互に披露され、最後は、会場全体が一体となって「イランカラプテ」君に逢えてよかった」の合唱を行った。(出典 北海道一五〇年事業ホームページ)

未来へつなぐ みんなでつなぐ。
二〇一八年 北海道は命名一五〇年

天皇皇后両陛下は、四日利尻島を初めて訪問された。在位中最後の離島訪問となるとみられている。「オタトマリ沼」では職員の説明を受け、利尻山を眺め、沼周辺を散策された。【オタトマリ沼】沼浦湿原は、オタトマリ沼と三日月沼のふたつの沼を擁し、面積二九ヘクタールにおよぶ利尻島で最大の湿地源。

利尻島初訪問



北海道高橋はるみ知事会見
天皇陛下におかれては、一九九三年にごさいました奥尻島を中心とした北海道南西沖地震の直後にもお越しいただき、二〇〇〇年の有珠山噴火からの復興状況を二〇〇三年にご視察いただいた



利尻島初訪問の両陛下を笑顔でお迎えする園児たち

ことなども含め、八回のご来道をお願いしたいところですが、本道においでいただく機会があるというのを、感謝を受けている。そのお声掛けを受けた道民の方々が大変に感動しておられる姿というものが、全国各地でもそうだと思うのですが、大変にほほ笑ましいと申しますか、何とも言えぬ心地良い気持ちになることが多かったことを振り返っていると、北海道高橋はるみ知事会見

東日本パイロット協会



災害ボランティア フライース・レスキュー・チーム

〒989-4504

宮城県栗原市蒲町小深沢232-1 電話 0228-36-2717



羽ばたけ東北

天皇皇后両陛下下行幸啓

福井県行幸啓 平成30年9月28日～9月29日

明治150年記念 第73回国民体育大会御臨場・地方事情御視察

二〇一八年福井国体 第七十三回国民体育大会



国民体育大会（国体）は、毎年開催されている国内最大のスポーツの祭典で国体は「全国植樹祭」「全国豊かな海づくり大会」と並ぶ三大行幸啓の一つである。福井県では一九六八年（昭和四十二年）の第二十三回国体以来、五十年ぶりの開催となった。幸福度日本一といわれる福井県で、

県民の元氣と創意を結集し、しあわせを感じ、元氣があふれる国体、スロガンを「織りなそう」と技と美しさ」と掲げ開催された。二十九日、天皇皇后両陛下は、福井国体開会式に御臨席された。天皇陛下は来年四月三十日で退位されるため最後の国体御臨席となる。

台風による日程変更

天皇皇后両陛下は、28日石川県の小松空港に到着された。大勢の県民が日の丸の旗や手を振ってお迎えし、両陛下は手を振ってこやかに応えられた。県内最初の訪問先は、坂井市の福井県教育総合研究所教育博物館。同日夕、福井市のホテル

フジタ福井へご宿泊された。29日は、福井市の県営陸上競技場で50年ぶり2巡目となる『福井しあわせ元気国体』が開催され、雨が降りしきる中両陛下は開会式に御臨席賜られた。一方台風24号の影響により国体総合開会式御臨席後の日程はお取りやめとなり、一日早く小松空港より帰京された。

小松空港

小松空港は、昭和36年から航空自衛隊と民間航空で共同利用している空港。現在、国内線は6路線、また、国際線は3路線が運航されている。このほか、国際定期貨物便が2路線の間で運航されている。



小松空港にて県民の方に手を振られる天両皇后両陛下

福井県教育総合研究所 教育博物館

福井県教育総合研究所教育博物館は、平成二十八年三月に閉校した旧春江工業高校の校舎を活用し、平成二十九年四月に開館した。全国でも数少ない県立の教育博物館であり、福井県の教育の発信拠点として、教育関係者の視察を多く受け入れている。

ている。幕末から明治・大正・昭和・平成の教具・教材、生徒作品など、学校教育に関する資料の展示を通して、福井の教育の歴史を紹介している。また、明治から戦後、現代にいたる四千点以上の教科書を全国から収集・保存しており現在ほとんど残っていない貴重な教科書を展示している。



特定非営利活動法人 社会生活促進援護会

山梨県笛吹市一宮町南野呂394番地1号
電話 0553-47-2236